市重要文化財(歴史資料)「墨俣宿本陣関札」





1 指定物件内容

- (1) 種 類 重要文化財 (歴史資料)
- (2) 名 称 墨俣宿本陣関札
- (3) 員 数 47点
- (4) 時 代 江戸時代後期・明治14年
- (5) 指定年月日 平成30年2月26日
- (6) 所有者 大垣市

2 指定物件の概要

本資料は、美濃路墨俣宿本陣の関札47点です。本陣は江戸時代に街道の宿駅において 参勤交代の大名や公卿など貴人が宿泊した施設でした。

美濃路は、五街道である東海道宮宿と中山道垂井宿を結ぶ脇街道で、この間に7つの宿駅があり、墨俣宿の西2里余(7.8km)には大垣宿、東2里17町余(9.6km)には起宿が位置しました。墨俣宿本陣は、慶長年間(1596~1615)に始まり明治3年(1870)に廃止されました。

関札は、大名や公卿など貴人が休泊する標識として、宿駅の出入口や本陣の前に立てられた札です。一般に右端に小さく日付、中央に筆太で官名、その下に「宿」、「泊」、「休」、「小休」と利用の別が記されています。

墨俣宿本陣に休泊した大名の関札には、本陣宿帳などとの照合により江戸時代後期の年号が推測されるものが14点あり、安永6年(1777)から文久2年(1862)に及んでいます。また、関札に記された官名より、御三家の紀伊藩、北陸の福井藩、中国の広島藩、四国の徳島藩、九州の熊本藩、美濃の大垣藩等が墨俣宿本陣を休泊に利用したことが判明しています。また、「皇大神宮御分霊 御泊輦」は明治14年、伊勢神宮御分霊が墨俣宿泊の際に使用された関札です。

関札には木札と紙札がありますが、墨俣宿本陣の残された関札はすべて木製です。岐阜県内では本市以外に関札は残っておらず、わが国の交通史、とりわけ美濃路の研究のためには貴重な歴史資料です。

3 関札一覧

	はない 見		縦	 横		備考		
	月 日	表書	(cm)	12A (cm)	藩 名 等	年号	裏 書	
1	 六月廿八日	安藝少将休	108	29	広島 浅野家	天保14年(1843)	朱書きで「墨股」	
2	九月三日	阿波少将休	90.5	31	徳島 蜂須賀家	八体14千(1043)	不甘でく「坐成」	
3	五月廿三日	因幡中将宿	112	29	鳥取池田家	文政 9年(1826)		
4	三月十二日	越前少将休	104	29	福井松平家	文政11年(1828)		
5	三月廿五日	越前中将休	100	27	福井松平家	7,011 (1020)		
6	三月廿二日	福井少将休	99	27	福井 松平家	天保 6年 (1835)	「十四」	
7	四月廿五日	福井少将休	101	28.5	福井 松平家		黒字で「墨股」	
8	口月廿六日	福井少将休	92	25. 5	福井 松平家			
9	十一月九日	織田山城守宿	94	23	柏原 織田家	文政11年(1828)	「四」	
10	□月□日	紀伊大納言殿休	107	35	紀伊 徳川家			
11	三月三日	紀伊殿休	107	34	紀伊 徳川家			
12	四月六日	紀伊殿休	108	34. 5	紀伊 徳川家			
13	三月二日	紀伊殿宿	107	34. 5	紀伊 徳川家			
14	口月口日	紀伊殿宿	107	35	紀伊 徳川家			
15	四月三日	吉川監物宿	97	24	岩国 吉川家			
16	五月廿九日	京極長門守宿	90. 5	26. 5	丸亀 京極家	天保13年(1842)		
17	八月五日	酒井修理太夫宿	88. 5	25	小浜 酒井家	天保 8年(1837)		
18	十一月五日	立花左近将監宿	94	26.5	柳川 立花家	寛政 3年(1791)	「松平□□守」	
19	七月廿八日	立花左近将監宿	96	27	柳川 立花家			
20	口月六日	立花左近将監宿	94. 5	26	柳川 立花家			
21		立花伯耆守宿	92	26. 5	柳川 立花家			
22	三月廿二日	伊達遠江守宿	90	25	宇和島 伊達家			
23	三月廿八日	伊達遠江守宿	90	26	宇和島伊達家			
24	七月七日	戸田采女正宿	96	24	大垣 戸田家	# 2 oF (1555)		
25	十月十八日	戸田采女正宿	88. 5	23	大垣 戸田家	安永 6年(1777)		
26	五月三日	彦根中将休	101	29	彦根 井伊家	文政10年(1827)	Гі	
27	六月三日	彦根中将宿	101	29. 5	彦根 井伊家		[+-]	
28 29	│ □月三日 正月廿六日	彦根中将宿 伏見殿姫宮御休	101. 5 83	29. 5 28	彦根 井伊家	安政 7年(1860)		
30	二月十三日	細川右京太夫宿	82	26		女政 7年 (1000)		
31	三月廿八日	細川超中守宿	87	29	熊本細川家			
32	四月十六日	細川越中守宿	89	29	熊本細川家			
33	四月朔日	細川越中守宿	88	29	熊本細川家			
34	三月六日	細川越中守宿	81.5	25. 5	熊本細川家			
35	四月口日	細川越中守宿	88	29. 5	熊本細川家			
36	五月三日	細川越中守宿	89	29	熊本細川家			
37		細川越中守宿	98	31	熊本細川家			
38	口月十二日	松平因幡守宿	111.5	28. 5	鳥取 池田家			
39	五月九日	松平内蔵頭休	105	33				
40	十月二日	松平甲斐守宿	100	30	郡山 柳沢家	天保15年(1844)		
41	四月廿八日	松平上総介宿	91	28				
42	三月二十二日	松平土佐守休	108	30	土佐 山内家			
43	十月廿二日	松平備前守休	106	30			「東壱」	
44	三月廿二日	松平閑叟宿	78.5	20	佐賀 鍋島家	文久 2年(1862)		
		1	1				i .	

	月	月	表書	縦	横	備考			
		• •		(cm)	(cm)	藩名等	年	号	裏 書
45	三月廿二日	目	松平閑叟宿	79	20	佐賀 鍋島家	文久 2年	(1862)	
46			□□□□守宿	98	31				
47	本月十二日	月	皇大神宮御分霊 御泊輦	182	54		明治14年	(1881)	

※ 順序は、『大垣市史 通史編 自然・原始~近世』(大垣市2013) 740頁 表2の順とし、 『墨俣町史』(岐阜県安八郡墨俣町役場1956) 205~223頁掲載の御宿帳及び『川端拝領留』 (一宮市尾西歴史民俗資料館蔵) より推測される藩名等及び年号を加筆。

4 写 真











